

コシヒカリの葉色はやや濃い。生育に応じた穂肥を!

1 生育概況

- 「コシヒカリ」の生育は、葉色がやや濃く、茎数淘汰が緩慢です。
- 「こしいぶき」の生育は、草丈は並、茎数はやや多く、葉色は濃くなっています。

7/8 現在の生育 草丈：並 茎数：並～やや多 葉数：並 葉色：やや濃い
 ※コシヒカリ (指標値比) (94%) (110%) (-0.3葉) (SPAD値+2.1)

	田植	草丈 (cm)			茎数 (本)				葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			
		本 年	指標比	前年比	本 年		指標比	前年比	本 年	指標差	前年差	本 年		前年差	
					㎡当たり	株当たり						指標差	指標差		
コシヒカリ	下稲塚	5/9	64	94	91	479	25.9	99	101	10.9	-0.4	-0.9	33.8	-0.7	-2.5
	高 森	5/17	65	96	87	544	26.4	112	119	11.0	-0.3	-0.4	39.2	4.7	-4.2
	長 崎	5/10	64	94	91	506	31.6	104	84	11.2	-0.1	0.0	37.1	2.6	1.7
	上百々	5/19	64	94	94	599	39.4	124	129	11.0	-0.3	-0.1	36.3	1.8	-2.9
	平均		64	94	90	532		110	107	11.0	-0.3	-0.4	36.6	2.1	-2.0
こしいぶき	関 山	5/30	46	79	87	294	18.0	74	63	9.7	-1.0	-0.2	42.0	7.0	-1.8
	下稲塚	5/8	69	106	102	530	29.6	118	99	11.1	-0.3	-1.0	43.9	7.9	3.0
	長 崎	5/15	62	95	88	459	25.1	102	67	12.1	0.7	-0.2	43.2	7.2	-3.2
	上百々	5/16	63	97	97	440	28.2	98	98	11.2	-0.2	-0.5	39.0	3.0	-1.4
平均		65	100	96	476		106	85	11.5	0.1	-0.5	42.0	6.0	-0.6	

2 北陸地方1か月予報 (新潟地方気象台 7月8日発表)

- 向こう1か月の気温は平年並みか高いでしょう。期間の前半は前線や湿った空気の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

3 今後の管理

- 「コシヒカリ」の出穂期は、平年並み (8/2頃) と見込まれます。5/10～15頃の田植では、7/10頃が幼穂形成期、1回目穂肥時期は7/15～18頃の見込みです。
- 1回目の穂肥は、**ほ場ごとに幼穂形成期の草丈、葉色を必ず確認し**、施用時期と量を決めましょう (下表参照)。また葉色が濃い場合は、「遅め」を基本に施用しましょう。

表 コシヒカリの幼穂形成期 (出穂24日前頃) の生育による1回目の穂肥診断

草丈 \ 葉色	並	濃い
	SPAD値 32～34	SPAD値 35以上
75cm以内	時期・量とも基準どおり施用	時期を遅らせて施用
75～80cm以内	施用量を減らす	時期を遅らせ、施用量を減らす
80cm以上	施用しない	施用しない

- 「こしいぶき」の出穂期は、前年並み (7/26頃) と見込まれます。5/10～15頃の田植では、2回目穂肥適期 (出穂14日前) は、7/12頃の見込みです。遅れずに、確実に施用しましょう。
- 斑点米カメムシ類が平年よりも多い状況です。斑点米を防ぐため、草刈りを徹底しましょう。

次回は7月20日の予定です。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当 (電話025-526-9406)